

| | | | |
|-----------------|--|------------------------------------|--------|
| 授業科目名 (英文表記) | 豪雨災害とその備え (Heavy rain disaster and its preparation) | | |
| 単位数 | 2 (学部生のみ) | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員 | 此松 昌彦、田内 裕人、ゲスト講師 | | |
| 開講 | 岸和田サテライト | 区分 | 学部開放科目 |
| 実施日・時間 | ① 11月7日(土) 13:00~17:00 | ④ 12月5日(土) 13:00~17:00 | |
| | ② 11月14日(土) 13:00~17:00 | ⑤ 12月12日(土) 13:00~17:00 | |
| | ③ 11月21日(土) 13:00~17:00 | ⑥ 12月19日(土) 13:00~17:00 | |

1月23日(土)

【授業のねらい・概要】

最近では異常気象により大きな台風が到達したり集中豪雨によって風水害が発生し、停電になったりしています。19年度には台風19号によって河川の氾濫など大きな被害が発生し、その前年には台風21号で大阪・和歌山県で停電など大きな被害になってしまいました。そこで私たちはこれからの風水害において、どのように自分を守り、災害に対して備えていく必要があるのでしょうか。豪雨災害の事例やメカニズム、ハード対策、ソフト対策について考えます。また備えるために必要な手段としてのハザードマップや情報収集、避難所運営や停電時の備えについても考えます。なお地震災害についても少し含みます。

この科目では退職教員、防災教育のプログラム開発者をゲストスピーカーで招いて、災害時の情報通信、臨時災害放送局の事例、地域で必要な防災教育プログラムについて事例紹介をいただき、防災の多様性や防災を学ぶための仕掛けについて解説します。

【授業計画】 ※記載の内容は変更することもあります。

- 第1回 豪雨災害(洪水・氾濫)の事例とその発生メカニズム 田内 裕人 (システム工学部 助教)
- 第2回 豪雨災害(土砂災害)の事例とその発生メカニズム 田内 裕人 (システム工学部 助教)
- 第3回 被害を軽減する技術と枠組み(ソフト・ハード対策) 田内 裕人 (システム工学部 助教)
- 第4回 岸和田市ハザードマップの見てみよう(地震被害想定を含めて) 此松 昌彦 (教育学部 教授)
- 第5回 避難所運営や停電時の備え 【ゲスト講師】今西 武 (災害科学・レジリエンス共創センター客員教授)・此松
- 第6回 災害時の情報収集はどうする 【ゲスト講師】佐藤 周 (災害科学・レジリエンス共創センター客員教授)・此松

【到達目標】

豪雨災害については、自分で備えることができ、危険な場所を自分で推測し、自分で避難することができるようになる。

【教科書】

特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。

【参考書・参考文献】

教育現場の防災読本、防災読本出版委員会、京都大学学術出版会、ISBN：9784814001651

【授業時間外学習についての指示】 (学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。共通でも可)

本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の時間外学習が必要です。

【その他連絡事項】

今回はオンライン授業になります。ネット環境のもとで、テレビ会議で使用するZoom(ズーム)を使用します。事前にパソコンにダウンロードする必要があります。またMoodle(ムードル)という学習支援システムを使い、動画視聴や資料のダウンロードが可能になります。途中でネットが切れるリスクに対応するために講義の動画をいつでも視聴できるようにします。